

1. 件 名：浜岡原子力発電所の現地視察
2. 日 時：令和4年8月29日（月）10時30分～17時00分
3. 場 所：中部電力株式会社 浜岡原子力発電所
4. 出席者
原子力規制委員会
山中委員
原子力規制庁
原子力規制部
大島部長
原子力規制部 審査グループ 実用炉審査部門
渡邊安全規制管理官、河原崎総括係長
原子力規制部 審査グループ 地震・津波審査部門
谷主任安全審査官
5. 対応者
中部電力株式会社
代表取締役 専務執行役員 原子力本部長 伊原 一郎、他 12名
6. 要旨
 - (1) 浜岡原子力発電所において、
 - 防波壁等の津波対策設備、H-6 断層、ガスタービン発電機建屋、新緊急時対策所、構内のグレーチング（クリアランス金属）
 - 4号機建屋ベント設備、フィルタベント配管、格納容器下部（ペDESTAL）
 - 原子力研修センター、原子力安全技術研究所等について現地視察をした。
 - (2) 山中委員から、以下の内容を伝えた。
 - 初めて浜岡原子力発電所を訪れ、施設の現状を確認できた。
 - 本日視察した防波壁、免震構造のガスタービン発電機建屋、建屋の水素対策等は、浜岡原子力発電所の独自の設計であり、今後の審査において丁寧に説明してほしい。
 - 1・2号機の廃止措置に関しては、解体のための技術を共有するなど、電力全体で協力して取り組むことが大切。
 - 安全研究について、廃止措置中の1号機のコンクリートや原子炉圧力容器のサンプルを用いた高経年化に関する研究は評価できる。ケーブルの劣化状況についても是非研究してもらいたい。
7. その他
資料：
 - (1) ようこそ浜岡原子力発電所へ
 - (2) 原子力規制委員会 山中委員御視察時説明資料
 - (3) 原子力規制委員会 山中委員御視察時説明資料（緊急時対策所での説明用）

以上